



寒い時期はノロウイルスによる被害が多く発生します。普段から二枚貝の取り扱い方や殺菌・消毒による予防対策を行い、被害を出さない様にしましょう。また、FCCでは殺菌・消毒システムも取り扱っておりますので、何かございましたらご相談頂ければと思います。

二次感染の予防対策

① ドアノコ、蛇口を清潔にノロウイルスにより、吐いてしまったり下痢を触ってしまう事により発症。
 ・学校や老人施設、病院、ホテルや宿泊施設を始めとした集団生活の場合など、人との接触が多い場所での飛沫感染による発症。
 が挙げられます。
 特にノロウイルスは感染力が強く、くしゃみや咳などで飛び散った飛沫の中にある100個以下の僅かな量でも感染してしまいます。
 ② 汚物は徹底して掃除する
 汚物を掃除で取り除くのが不十分だと汚れた部分から乾燥し、ノロウイルスが空気中に広がり、多くの人々が感染してしまったりすることがあります。
 ③ 換気し、ビニール手袋・マスクをしてから、汚物は密閉出来るビニール袋に入れ、塩素系漂白剤か塩素系消毒剤を振り掛けてから時間を置かず速やかに捨てましょう。

一次感染の予防対策

① 貝類は充分に加熱する
 ノロウイルスは85℃以上の温度で1分以上加熱が有効です。60℃の温度で10分程加熱してもノロウイルスは死滅しないので、しっかりと中心部まで火が通る様に調理して下さい。
 ② 殺菌・消毒
 貝類を調理した後、別の食材を調理する前に使用した器具を充分に洗浄・殺菌しないと、別の食材にもノロウイルスが附着し、被害が拡大する恐れがあります。
 また、パック詰めされている貝類に入っている海水からも感染する場合があります。貝類を取り扱った後の調理器具は直ぐに殺菌して下さい。
 ノロウイルスに感染している疑いがある方は二次感染を予防する為に調理を行わない様にしましょう。

二次感染の代表例は

・ノロウイルス感染者の嘔吐物やふん便を手で触ってしまう事により発症。
 ・学校や老人施設、病院、ホテルや宿泊施設を始めとした集団生活の場合など、人との接触が多い場所での飛沫感染による発症。
 が挙げられます。
 特にノロウイルスは感染力が強く、くしゃみや咳などで飛び散った飛沫の中にある100個以下の僅かな量でも感染してしまいます。
 ③ 換気し、ビニール手袋・マスクをしてから、汚物は密閉出来るビニール袋に入れ、塩素系漂白剤か塩素系消毒剤を振り掛けてから時間を置かず速やかに捨てましょう。

一次感染の代表例は

・二枚貝(牡蠣、シジミ、アサリ、ハマグリなど)を生食、もしくは加熱不十分の状態ですべてしまう事により発症。
 ・飲食店、家庭などで調理に携わる人が手などにノロウイルスが附着したまま食材を調理し、別の人間がその料理を食べてしまう事により発症。
 ・井戸水や簡易水道水の消毒が不十分のまま飲んでしまった場合。
 などがあります。



ノロウイルスにご注意!

この時期になってくると耳にする「ノロウイルス」による食中毒。0-157などの夏に発生しやすい食中毒とは違い、ノロウイルスは寒さが厳しい冬の時期が発生のピークなのです。
 ノロウイルスによる感染症(食中毒)の感染経路は主に一次感染と二次感染の2種類に分ける事が出来ます。
 一次感染の代表例としては、

二次感染の代表例は

・ノロウイルス感染者の嘔吐物やふん便を手で触ってしまう事により発症。
 ・学校や老人施設、病院、ホテルや宿泊施設を始めとした集団生活の場合など、人との接触が多い場所での飛沫感染による発症。
 が挙げられます。
 特にノロウイルスは感染力が強く、くしゃみや咳などで飛び散った飛沫の中にある100個以下の僅かな量でも感染してしまいます。
 ③ 換気し、ビニール手袋・マスクをしてから、汚物は密閉出来るビニール袋に入れ、塩素系漂白剤か塩素系消毒剤を振り掛けてから時間を置かず速やかに捨てましょう。

ノロウイルスにご注意!

Index

- ノロウイルスにご注意!
- FCCブログ
- ご意見・ご感想について
- FCC商品ご紹介
- 環境コラム
- 季節のムシ暦 (28)

株式会社 FCC 

〒251-0043
 神奈川県藤沢市辻堂元町4-3-32
 Tel 0466-31-3164
 Fax 0466-31-3174
 URL <http://www.fccsystem.co.jp>
 E-mail info@fccsystem.co.jp

FCCブログ — FCCの代表、深澤正司の『湘南ではたらく小さな会社の社長blog』より

いい訳

1週間で一番忙しい曜日、私にとってそれは‘木曜日’です。本当は3つくらい重なっている事があり、どれかしらいつも欠席しています。

分かる人には、今その言い訳ってことです。でも分からないけど何故か木曜日に重なる。不思議だぁ～

話しは変わり‘いい訳’ですが、いつも素晴らしい事を言っている人が、稀に見せるいい訳とか、あまり悟りのない部分を見せたりするのは安心します。

みんな完璧ではなく、完璧だったら神様だし、一生勉強です。すこし学んだとして、その学んだ自分を常に見せているのは、体に良くないし、まして辛い。

ダメな部分を見せてくれたほうが、人間味があって他人は安心したりする場合もあります。

社員に厳しいことを言います。その時は、ダメな自分を封印して、完璧な人間を演じて指導する以外ないです。

「俺はそれ出来ないんだけど、お前はやれよ！」って言えない それ違っているぞ!って言う時は、自分が出来ていることです。

こればかりやっていると、自分も他人も辛くなる。だから私はあえてしくじった話とかをブログにも書きます。

ただ念のため言うと、全て真実で作り話の類は一切ないので。あしからず。

FCCブログ — FCC施工員の『主任の初志貫徹日誌』より

経営指針発表会

1月28日にFCC第13期の経営指針発表会を行いました。前期の反省を生かして早めに指針書の作成作業に入りましたが、結局完成したのはギリギリでした。リハーサルのスケジュールはとってあったのですが、その時点では、まだ指針書が完成していませんでした。

よって、まともなリハーサルが出来ずに、昨年とあまり変り映えない結果となってしまいました。来季への教訓にします。来季は発表会の直前にリハーサルの時間をとれば良いのです。

また、発表会が終了して気が抜けてしまったのか、その後の懇親会の段取り漏れで社長から雷。後味の悪い結果になってしまいました。こちらも反省!! 次回に活かします。

年々、進歩してより良い経営指針書、発表会にします。

ご意見・ご感想について

施工に施工員が何った際にお客様が気付いた点や、改善して欲しい所、FCCニュースやメールマガジンに掲載して欲しいテーマなど、ご意見・ご感想をFCCでは募集しております。

ご意見・ご感想は、お手数お掛けしてしまう形になってしまいますが、下記メールアドレスにお送り下さいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご感想はこちらまで
info@fccsystem.co.jp

【コクゾウと云う米櫃(コメビツ)のムシ】

まだ「啓蟄」(テイチツ)には早いですが、寒さの峠を越したようだ。ボツボツと虫の声も近づいて来た。この所、「虫」と云うと直に混入異物の虫と連想してしまふ。昔から「米櫃」に虫が湧くなどは、当り前の話であったが、この頃はそうでは無いらしい。少し前の事だが、一般消費者から「お米」の中にこんな虫が居たが、何という虫なのか、何処で入ったのかと云う相談を受けた。それはひと目で、「コクゾウ」だと判ったが、今では、このような虫を知らない人の居ることに驚いた。しかし、その反面、久しくこの米(米)の虫には、お目にかからなかった。それは、米が自由に廻り、一度に購入する量がすくなくなくなった所為かかもしれない。念のために、身近な人達の数人にこのムシを見せて貸したが、全員が知らなかった。その中の一人が、ゴキブリの子供かと質問したと云う状況であった。



【写真説明】これが問題のコクゾウだ!! 今米粒から羽化脱出の直前である。

今日、食品中の混入遺物の虫が騒がれるのは、以上のように「虫」を知らない人が増えたことに、一因があると考えられる。では、「コクゾウ」とは、どんな虫なのだろうか、これについて紹介する。問題の「コクゾウ」は、ゾウムシ科に属する小型の甲虫で、世界に広く分布する「穀類」の害虫である。わが国では、コメムシ、ホリ、ツミ、ゴマムシ、ソウゲなどと呼ばれていて穀類に発生する庶民的な虫であった。また、穀類の「五大害虫」の一つである。なお、この虫を理解するために、その前に「穀」(コク)の説明をする。その「穀」とは、通常いわれるのが「五穀」で、それは、米、麦、粟(アワ)、豆、黍(キビ)、または稗(ヒエ)を云い、人間の「主食」である。

この害虫の一つが、コクゾウでその他の主要なものは、コクゾウ、ナガシクイ、ノシメコクガ、バクガなど知られている。これらが、「五大害虫」なのである。コクゾウは、成虫の体長がおおよそ2〜3.5ミリ程度の小型甲虫である。生活史は、卵、幼虫、蛹、成虫の完全変態をとる。発生回数は、年に2回から3回で、成虫が見られるのは、3月下旬から10月下旬までである。

成虫は、細長い口器で穀粒に穴を開け、その中に1卵づつ産卵する。孵化した幼虫は、粒内で成長し、3回脱皮をして5歳となって蛹化し、成虫になって脱出する。普通の環境条件であれば、卵期間が4から5日間、幼虫期間は12から13日、蛹期間は前蛹期が1から2日、蛹期が5から6日、羽化から脱出までに3から6日を要する。その一生は早いもので24日、おそいものでは、34日を要する。いずれも、環境条件に大きく影響される。

成虫の生存日数は、幼虫で越冬し、4月に羽化したものは50日程度あるが、平均的には100日と云う報告もある。また、成虫で越冬したものは、200日と云う報告もある。なお、生活の適温は、28℃から29℃である。また、15℃以下になると繁殖が出来ない。実験によると発育零点発育が出来なくなる温度は、15.5℃である。

この事は、コクゾウの発生を抑えるには、保管条件を15.5℃以下に保てば良いことを意味する。行動特性：コクゾウの面白い性質は、穀粉類は成虫の餌にはなるが、幼虫は成長出来ないことである。幼虫が育つた場合には、「穀粒」でなければならぬ。また、4月〜5月頃には、成虫が白い花に好んで集まり、吸蜜行動をとることである。充分に、吸蜜すると、倉庫内に戻ることである。

関東周辺では、3月下旬頃に成虫は潜伏場所から這い出し、加害物のある場所に向う。また、10月下旬には倉庫の外に脱出し、潜伏場所に向う。

脱出個体は、庫外の近くの古材木、古瓦、枯枝、叢内に集団で潜伏するのを見ることがある。このコクゾウの成虫の食物は、果実の汁液、米穀、トウモロコシ、ブドウ、ジャガイモ、各種の植物の果実、塊茎、種実、生根と広範囲で27科96種におよぶ。

幼虫の植物は、穀類を始めとして、サツマイモの干塊根、干柿、アカガシの種実、シイの種実など、実に11科31種に達する。実に、コクゾウは、食欲旺盛な貯穀の害虫である。人間の主食を餌としているだけに、厄介な虫である。ことに、農業による化学的防除が、敬遠されている今日、このムシの多発は避けられないであろう。

環境コラム -花粉症と林業-

この時期から春にかけて多くの人がその症状に苦しんでいるのが『花粉症』です。日本では国民の5人に1人が花粉症を発症しており、花粉症は**国民病**と言っても過言ではありません。

日本での花粉症の原因は様々な要因が関係していますが、一番の要因は**スギ花粉が大量に飛散**している事でしょう。この大量のスギ花粉の飛散は昭和30年代に拡大造林によって始まりました。戦後、**過剰な木材の需要**の為、元々あった広葉樹の山は全て伐採され、その場に新たに杉や檜が大量に植林されたのです。それにより、**国土の3割以上が杉と檜**になり、大量に花粉が飛散するようになったのです。

しかし、いくら杉と檜が拡大造林されたからと言っても、手入れ(間伐等)がされていれば今の様に大量に飛散する様なことはありません。何故、手入れがされなくなったかと言うと、原因は昭和35年と昭和37年に木材の輸入の自由化が行われ外国より**大量の木材が輸入**されたのが原因です。

それにより、**国内の木材の価格は下がり**、間伐材の価格も同時に下落し、間伐の作業自体が赤字を発生させてしまう労働になってしまったのです。結果、日本の人工林は半ば放置に近い状態になっており、それが原因で大量の花粉が飛散しているのです。

どんな杉や檜でも丁寧に**手入れが行われていれば、花粉の飛散量を現状の半分以下に減らす事が出来ると**言われています。その為にも、家を建てる際には国産の木材を使用したり、木製品のものを購入する際でも国産の木材を使用しているものを選ぶなど、**意識的に日本にある森を活用していく事が大切**なのではないでしょうか？

FCC取扱商品ご紹介

F-118HS

(フィンガータイプ、ガンタイプ) 250ml/1本 ¥1,680円



部屋にこもったタバコの臭いや、キッチンの生ゴミの臭いなどが気になった事はありませんか？

今回紹介するF-118シリーズの一つである、F-118HSはタバコの臭いがこもった部屋や、生ゴミの臭いが気になるキッチン、使用後のトイレなど様々な所の消臭に対して効果があります。

松やモミの木などの針葉樹やヨモギ、イラクサ、茶葉や椿、レモンなど118種の草木を原料とした**純植物性**で、**化学物質は一切使っていません**。ですので人や動物に対しての害は全く無く、環境への害も一切ありません。

F-118は森の浄化システムを元に、芳香剤の様に別の匂いで誤魔化すのではなく、**臭いの原因を元から分解**します。また、空気中に漂う**細菌や雑菌も分解効果**もあり、**高い除菌効果**がありますので、**インフルエンザや風邪の予防**にもなります。

F-118HSは臭いが気になる所へシュッと吹きかけるだけで、あっという間に**原因物質を分解・消臭**し、**森林の爽やかな香りに変化**させます。フィンガータイプ(図右)、ガンタイプ(図左)の2種類ございますので、部屋の臭いが気になる方はお好きな方をご利用してみたいかがでしょうか？

ご注文の際はこちらまで

http://www.fccsystem.co.jp/shop/eco_item.html

